常務理事就任披露會概況

町田常務理事挨拶

昭和十二年五月四日大阪倶樂部に於て

一言御挨拶を申上げます。本夕は特に御多忙の處を、知事閣下並びに御當地の最も有力な方々の、斯く多數御列席を得ましたことは、私の最も光榮とする處でありまして、洵に感激に堪へない次第であります。

先般河原田前常務理事が、林内閣の成立に當りまして、内務大臣に御榮轉になりました後任と致しまして、不肖私が國らずも常務理事の重職を擔當することに相成つたのであります。不敏短才の私が、この重任を全ふ致しますることは、實に容易ならぬことであると思ふのであります

大阪倶樂部に於て催されるた町田常務理事就任披露宴の模様

が及ばずながら萬難に拂ひまして、身を挺して誠心誠意務の遂行に最善を盡したいと考へて居る次第であります。この機會に於て、所懐の一端を申上げて皆樣の御聲援御指導を仰ぎますと共に、協調會の事業の上に於ても御援助の程お願ひ致して、いろ〳〵と御援助の程お願ひ致したいと思ふのであります。

殊に御當地は、我が國産業界の心臟部でありまして、協調會と致しましても出來得る限りの力を盡したいと考へて居るのであります從つて會の事業に御協力を願ふ次第であります。

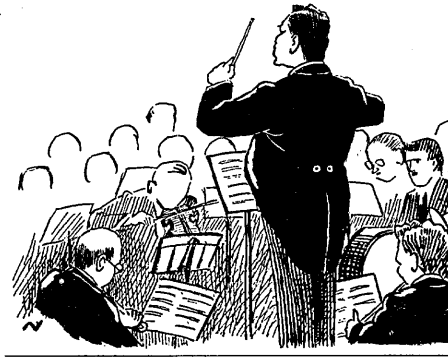
回顧致しますれば、大正八年、當時の内務大臣床次閣下、澁澤子爵並びに細川公爵がいろ〳〵と御心配になりまして、協調會の創立を見ましてから、既に十八年を經過致して居る次第であります。當時は歐洲戰爭直後、ドイツ並びにロシアを中心と致しまして、過激急進的な社會革命思想の影響を受けまして、我が國の産業界に於ても勞資の對立は深刻を極め、勞働爭議は未曾有の頻發を見るに至つたのであります。從ひまして、當時の協調會と致しましては、社會運動の調査及び勞働爭議の和解、調停を重要な任務と致して居つたのであります。その後時代の要求に應じまして、政府に於ても、各地方廳に調停官を設け、勞働爭議の調停に當ならやうになりまして以來は、協調會と致しましては、專ら勞働爭議を未然に防止することに主力を注いで參つたのであります。即ち勞資間の調整に必要な基本の調査研究並び社會立法、勞働立法の調査、その他勞務者の教育或は亦事業主の反省に必要ないろ〳〵な企てをして、專ら産業平和、勞資協調に向つて盡力致して參つたのであります。幸ひに致しまして時代の變遷に伴ひ、その後我が國の勞働運動は漸次穩健になりまして、勞働組合の中から産業平和「勞資協調」を唱へるやうな傾向に相成りましたことは、我が國の産業界のために慶賀すべきであると共に、誠に今昔の感に堪えぬ次第でございます。

今日の國家、内外の情勢を考へまするに、實に有史以來の難局に當面致して居るのでありまして、我々國民全體が擧國一致で、この國難打開に當らなければならないのでありまして、國民各層間に對立抗爭を續けることは、國家將來のために遺憾に堪へない次第であります。

協調會に於きましては、創立當初から協調精神の普及徹底を根本の使命と致して參つたのであります が今日益々その必要を痛感する次第であります。而して勞資間の協調に當つて必要なことは、産業道の確立と、勞務精神の作興と、國體即ち國體に準據する社會政策の實現、この三位一體の調和であると信ずるのであります。

過般、河原田前常務理事が御在任中、産業報國勞働協會を合併致しまして協調會内に産業報國勞働部を設け、勞務者の精神運動並びに産業報國の一つと致しましたのも、この根本精神に外ならぬのであります。唯從來福利運動なるものが、動もすれば經濟的方面にのみ力を注いで居るやうな誤解を生じて居る感がありますので、私は物心一如の産業報國運動を益々擴張致しまして、勞務者の安樂福利を並行して實現しなければならないと思ふのであります。

勞務精神の作興に當つては從來の階級的な勞働觀念を根底から覆しまして、勞働は單に自分の地位なり、自分の生活の維持向上のみを目的としたものでなく、自己のための職分を通じて産業のために、國家社會のために率仕する意であるといふ觀念を、全勞務者に徹底せしめることが、最も緊要なことでないかと思ふのであります。同時に事業主に於ても、産業報國の見地から勞務者の人格を認め、勞務者の福祉、安寧を圖りまして、勞資の間に對立、抗爭を醸すやうな缺點を除いて、眞に勞資が打つて一丸となつて、國家のために御奉公するやうな方針に向つて協調せられんことを切に希望して居る次第であります。



協調オーケストラの指揮者は下の如くに

老も若きも
もも男も
勞資
も貧富の
女も別の協
もの調和で
くの曲の
は發展
に下

私は斯樣な考への下に、將來共協調會の仕事を進めたいと思ふのであります。これらに就て本部樣からいろ〳〵御指導御鞭撻を仰ぎまして、この重大なる時局に際しまして協調會が勞資問題に就て萬遺漏なく最善を盡すことが出來ますやうに特にお願ひしてやまない次第でございます。

なほ協調會に於きましては、今日の時局に當つて大いに決意を表明する爲に、三常務理事制を採用し、新たに長岡調査部長及び蒲生産業報國部長が常務理事に就任致しました。何れも長岡君から御紹介に預りました長岡であります。この機會に皆樣に一言御挨拶申上げることは洵に光榮に存する次第であります。

只今町田常務理事から協調會全般のことに就いては縷々御挨拶がありましたので、私から重ねて蛇足を加へることはやめて、私の擔任致して居ります調査の方面に就て一言御報告申上げたいと思ひます。

調査の方面と申しても主として社會政策時報とか、或は出版といふやうな、机上の仕事に拠つて居るのであります。從つて地方に出まして皆樣の御指導を親しく受ける機會も非常に尠なかつたやうな次第であります。且又仕事の關係からして、絶えず文章を書くといふことでありまして、碌々まゐれば共だ哀ひ性能たるやうな、時勢に聞はない、或は抽たる勞作を致して居り、洵に汗顔に堪へないやうな感も致すのであります。殊に我々のやつて居りますことは、多くは理論或は理窟のやうなことが多くございまして、この理窟や理論だけでは物事は片付かないといふことがよく冒はれるのでありますが、私も全くその點はその通りであると信ずるのであります。唯幸ひなことに、協調會は創立の當初から一つの指導精神を持つて居るのでありまして、それはいふまでもなく、協調の精神であると思ふのであります。私は常にこのことを考へるのであります。協調といふことは何と解釋して宜しいか、これは餘程むづかしい問題であらうかと思ひますが、併し、所謂中庸の精神、和の精神、それらの精神を體して我國は大正七、八年頃から輪出入された各種過激な運動、思想に對しまして協調會の精神、和の精神を基にして、協調會が創立されたものであると存するのであります。從ひまして、我々は勞働事情を調べます時にも、雇主の立場を調べます時にも、唯空に議論をする、空に議論を弄ぶといふ氣持で調査致さなかつたつもりであります。あくまでも協調會の根本精神である處の協調精神といふものを根本に把握してこの精神を基にして、仕事を運んでゆくわけであります。物事は唯感情だけで解決しない、意志だけで解決しない、勿論知識だけでも解決しない、知情意を綜合し、全人格的に統一ある活動として、そこに初めて、和、協調といふ實が擧るのであります。斯ういふ風に私は信じて居りまして、そして我々の任務を、この協調精神を基として根本に調査研究をし、どちらかといふと、理知的な勞作の方面から聊かなりとも國家社會に貢獻致したい、御期待に副ひたい、左樣な覺悟で進んで參つた次第であります。幸ひにして無學無能でありますけれども、今日まで職を辱うすることが出來得ましたことは全く皆樣方の御聲援の賜であります。

今後共やはり私共調査の方の仕事を生涯の天職と致しまして齊されん限りこのことに就いて勞力を致したい覺悟でございますが、御見知り置かれまして、御指導下さいますならば、洵にありがたき幸せと存ずる次第であります。甚だ冗長になりましたのではどうしても感謝を述ることはむつかしいと考へるのであります。今度は任致しました。何れ長岡君から御挨拶があると思ふのでありますがどうぞこの不肖非才の我々を皆樣の御援助によりまして御指導下さいますことを偏へに希望する次第であります。

長岡常務理事挨拶

私は只今町田常務理事から御紹介に預りました長岡であります。この機會に皆樣に一言御挨拶申上げることは洵に光榮に存する次第であります。

只今町田常務理事から協調會全般のことに就いては縷々御挨拶がありましたので、私から重ねて蛇足を加へることはやめて、私の擔任致して居ります調査の方面に就て一言御報告申上げたいと思ひます。

調査の方面と申しても主として社會政策時報とか、或は出版といふやうな、机上の仕事に拠つて居るのであります。從つて地方に出まして皆樣の御指導を親しく受ける機會も非常に尠なかつたやうな次第であります。且又仕事の關係からして、絶えず文章を書くといふことでありまして、碌々まゐれば共だ哀ひ性能たるやうな、時勢に聞はない、或は抽たる勞作を致して居り、洵に汗顔に堪へないやうな感も致すのであります。殊に我々のやつて居りますことは、多くは理論或は理窟のやうなことが多くございまして、この理窟や理論だけでは物事は片付かないといふことがよく冒はれるのでありますが、私も全くその點はその通りであると信ずるのであります。唯幸ひなことに、協調會は創立の當初から一つの指導精神を持つて居るのでありまして、それはいふまでもなく、協調の精神であると思ふのであります。私は常にこのことを考へるのであります。協調といふことは何と解釋して宜しいか、これは餘程むづかしい問題であらうかと思ひますが、併し、所謂中庸の精神、和の精神、それらの精神を體して我國は大正七、八年頃から輪

安井大阪府知事閣下祝辭

茨だ僭越でありますが、御指名を受けましたので、一言私から御禮の御挨拶を申上げます。尤も小倉さんからお話がございますやうに何つて居りますので、その前座と致しまして簡單に御挨拶申上げます。

今夕は、この度協調會の常務理事に御就任になりました町田さん、長岡さんが態々御來阪になりまして、斯樣な御盛宴を御設けになり、御繁忙中お招きを頂き、御厚情ありがたく御禮申上げます。今更私から申上げるまでもなく、町田さんは眞に熱と力を以つて今日まで奮闘努力して來られた方であります。長岡さんは全く當局當時に協調會の發展運動に非常に力を注いで來られた方であります。私は、恐らく協調會に御出いりになりましたから、始終公私共に御別懇に願つて居るのでありまして、この度協調會の常務理事に御就任に相成りましたことは洵にお目出度く存じますと共に、この御二人の實力から見て極めて當然に考へるのであります。協調會は創立以來勞資の協調並びに社會政策に關する調査研究のために非常に盡力して參つて居るのであります。今まで幾多の變遷を經てきたのでありますけれども、その時々の時世に適應して、我國の産業界のために、又勞働界のために貢獻なされた業績に就ては、今更申上げるまでもないのであります。併し今日の時世は、各方面共に、自己反省を致しまして、その立場の上に協調を圖り、擧國一致で行かなければならない時節に相成つて居るのであります。斯樣な時節から考へますならば、協調會の將來といふものは非常に御多忙であり、又重要な使命を御持ちになつて居ることゝ考へるのであります。左樣な時に、この常務理事を得ましたことは洵に意を強うする次第であります。どうぞこの上ながら御自愛頂きまして協調會のために、延いては國家のために御盡力あらんことを切に希望致します次第であります。

小倉正恒氏祝辭

（住友本社總理事）

事業家の立場から私に挨拶をせよと云ふことでありますから、私個人としての一、二感想を述べさして頂きます。

協調會といふ仕事は非常にむつかしい仕事であつて、到底これは短日月に出來得ない、少くとも幾年に月を以つてやらべきものであると思ひます。然るにこれまでの常務理事は、結果からさうなつたのであるが、洵に御在任年數の短かつた、常務理事を惜くされますと、いろ〳〵政府の顧官に御榮轉になるといふ結果になつたのであります。どうもさういふ短いものではどうしても感銘を與ふることはむつかしいと考へるのであります。今度は町田さん始め長岡さん蒲生さんの三常務理事の方は、必ず長く御在任になるといふお話がありましたので、非常に意を強うした次第であります。先づ以てこの度の御就任を心からお喜び申上げるのであります。

次にいろ〳〵私以前から協調會に關係致して居りまして、私の頭に多少ある處を申上げますといふと、先づ澁田さんが勞資の調停に御盡力になり、吉田常務理事が國策の檢討に乘出し、河原田さんは顧問理事の方に餘程力を御入れになつたといふことを思ひます。さうしてその度は只今お話になつたやうに、勞働爭議の調停作興、それから事業主の産業報國、何れも立派な精神でありまして、今日の時局に對しましても期待して居るのであります。勞務者は、唯自分をよくし、自分を向上するといふだけではいけない、どうしても産業といふものゝ發展を考へなければならない、又事業主は、産業を通じて勞務者の人格を認めて、勞務者の幸福を考へなければならない、そして産業上から勞資協力せしめて、それに國家、社會が、社會政策上有益なことを、それに付け加へ、三位一體となつて進展を浮化して行くといふ趣旨にあるのでありまして、時世の變遷と申しながら、洵に立派な考へであると快く拝聽したやうな次第であります。

もう一つ私の喜ばしいことを申上げます。今度町田さんと聞ひ、長岡さんと聞ひ、長らく協調會にお出でになつて協調會のことは既に充分御承知になつて居ることであります。協調會の如き仕事は斯ういふ方でなければならない、途中から飛入にはいつても本當の仕事はできない隅から隅まで實際の眞相を見極めて行くといふ人のみが、協調會の使命を完ふしうるのであります。

これは想ひ出話でありますが、協調會が出來た時に、私が澁澤子爵に申上げたことがありますが、うまくゆかんと思ふ、何となれば協調とは對立關係を前提としてゐるからうまくゆかん。而もこの對立關係の上に事業主が金を出して、種々事業をするといふことは勞働者は滿足出來ん、斯ういふものはうまくゆきませんぞ」と申上げたのであります が、併しながら、その私の考へに間違つて居つたのでありまして、今日になつて考へて見ますと、左に非ずして、段々その後の傾向を見ても非常に立派な効果を御擧げになり、例へば爭議の調停の時でも極めて公正な態度をとり、又ストライキ前に、事を未然に防いだこともあり、その他社會事業に於ても缺めて經健な設を段々發表になつて、社會を神益し